

衆議院議長殿
参議院議長殿

国保料・介護保険料の値下げを求める請願署名

(請願趣旨)

年収 200 万円台で 30 万円、40 万円の負担をしいられるなど、国民健康保険料（税）は、すでに、府民の負担能力をはるかに超える額となっています。その上、滞納すると、保険証が無慈悲に取り上げられ、手遅れで死者まで出すほど深刻な事態が進行しています。昨年大幅に値上げされ、少ない年金から天引きされる介護保険料も大きな負担です。

こうした高すぎる国保料・介護保険料となった大きな原因は、国が社会保障への責任を放棄して、補助金を大幅に削ってきたからです。国保では、1984 年度から 2004 年度の間、市町村国保への国庫支出金が 49・8%から 34・5%に減少しました。介護保険ではそれまでの 50%の国の負担が 25%に半減しました。

国保では、この間減らした 1 兆 6 千億円の補助のうち 4 千億円を元に戻せばひとり 1 万円の値下げができます。介護保険では 25%に半減した補助金のうち 5%分を元に戻せば、値上げを抑え、保険料・利用料の減免制度を充実することが可能です。

(請願項目)

1. 国が大幅に削ってきた国民健康保険への補助金を計画的に元にもどし、ひとり 1 万円の値下げを行うこと。
2. 国保料の滞納を理由とした保険証の取り上げ（資格証の発行）をやめること。
3. 半減した介護保険への国庫補助金を増額し、介護保険料・利用料の負担を軽減すること。

氏名	住所	印